

1. 2015 年度の総括

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	58,388	117.2	↑
支出	47,158	101.1	⇒
経常収支差額	9,284	761.6	↑

評価：基本単価の増、夜間支援体制加算、重度障がい者支援加算の取得により前年度に比べ収益増となる。
大領であいでの一泊旅行を実施しています。



② 職員配置と研修（職員数は 2016 年 1 月現在）

正職員5名、契約職員1名、非常勤パート(固定7名)、夜勤パート約40名。正職員1名一般職から副主任に昇格。非常勤パートは昨年より2名増え、夜勤パートは複数新規採用があったが、退職される方もおられ、総数はほぼ変わらず。毎月の夜勤はほぼ夜勤パートで埋めることができたが、足りないところ、急な欠勤は常勤職員、また他部署の緊急ローテーションを依頼し補う。
研修は変則シフトであることもあり、他部署に比べると研修参加は少なかった。重度障がい者加算申請のための強度行動障がい支援者養成研修基礎過程、実践課程に2名参加することができる。

③ 事業内容

余暇支援として大領であい利用者での一泊旅行を実施する。また、だいくかのんでも日帰り企画を実施し、昨年よりも充実させることができたが、これからも利用者の意見を積極的に取り入れていきたい。
昨年だいくに入居された利用者の対応に各職員苦慮しながらも支援に取り組む。かなで利用者手術入院もあり今後の支援の方向性、介護方法等見直しを行う時期にきている。
地域生活としての地域住民との関わりについて考えていくことが今年度の課題の一つであったが、具体的には動くことができなかった。しかし、部署内会議で取り上げたことや、消防訓練に地域住民の連絡員に声をかけたことなど、少しではあるが意識化を図ることがある。来年度の継続課題としたい。
新規 GH については、物件提供もあり入居アンケートを配布するなどするが、新設には至らず。今後の課題としたい。

④ 品質管理

だいく女性利用者が情緒不安定になり、調理中の世話人の包丁を持ち、刃を世話人に向ける。2月より調理場所をだいく101からかのん303へ変更する。

2. 2016年度の計画

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	58,455	⇔	入居者の増減等ないため(だいくかのん、大領合算)
支出	52,425	↑	契約職員を正職員に置換による人件費増

② 主課題

<p>支援者(夜勤者)の確保が変わらず挙げられる。来年度は4回生の夜勤パートが多く、新しい人材の雇用、育成が急務となる。</p> <p>利用者支援においては職員の年数も重ねてきており日常生活面でのよりきめ細かい支援、また利用者の思い、意見をどう具現化していくかをチーム全体でより考えていく年にしたい。地域との関わりについてはより職員での意識を深めたい。地域行事への参加、地域住民のGH企画の参加等を手段に使いつつ、GHの意義的なものを深めていきたい。その中で新規GHの開設も視野に入れ準備を進めていきたい。</p>

③ 年間事業計画(予定)

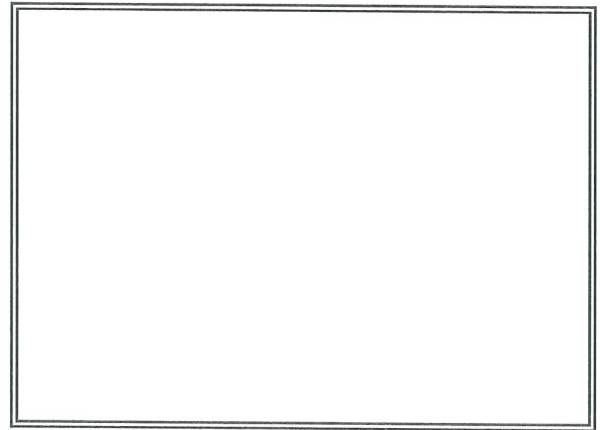
5月	GW 企画	11月	だいくかのん一泊旅行
6月	家族会	12月	忘年会、クリスマス企画
7月	だいくかのん日帰り企画	1月	防災研修
8月	お盆企画、感染症勉強会	3月	大領一泊旅行
9月	大領日帰り企画	毎月	入居者会議
		未定	虐待防止研修
		未定	地域住民との企画

1. 2015 年度の総括

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み	予算比 (%)	前年比
収入	5,964	96.8
支出	7,010	110.2
経常収支差額	-1,046	

評価：予算未達成です。しかし、夜勤パート雇用により前年度よりも収入増となる。経費もそのため増えて赤字になる見込



② 職員配置と研修（職員数は 2016 年 1 月現在）

常勤職員での宿直体制は前年と変わらず。しかし、各部署の勤務体制により利用できる日が以前より少なくなり、利用者のニーズに応えられない、また収益減の傾向の為、7月からショートステイ専属の夜勤パートを雇用する。設立当時の「関わりの深い職員と安心して泊まる」というテーマから踏み出し、新しいショートステイの体制を模索する。基本、月1度の利用を原則にしていたが、利用者のニーズ、状況に応じて複数回利用していただくことも取り入れる。

③ 事業内容

企画実施はなし。
各部署でのショートステイ見学等にも利用していただく。

④ 品質管理

特になし。

2. 2016 年度の計画

① 予算案のポイント

費目	算 (単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	6,200	⇒	各部署の職員体制、夜勤パートの勤務体制を今年度と同様と考え算出しています。
支出	7,049		職員数を 2015 年レベルで算出すると赤字は避けられず

② 主課題

引き続き利用率の向上。その為にも夜勤パートの継続、新規雇用を行い人材育成に努める。ご家族からグループホームに入居するための練習の場としても利用できたらという声もあり、現在の原則一泊から複数泊の利用をできる仕組みはないかを模索し、ショートステイをよりニーズに応えられる場にしていく。

③ 年間事業計画（予定）

毎月	ショート選定会議		